

217
412

明治卅四年二月改正

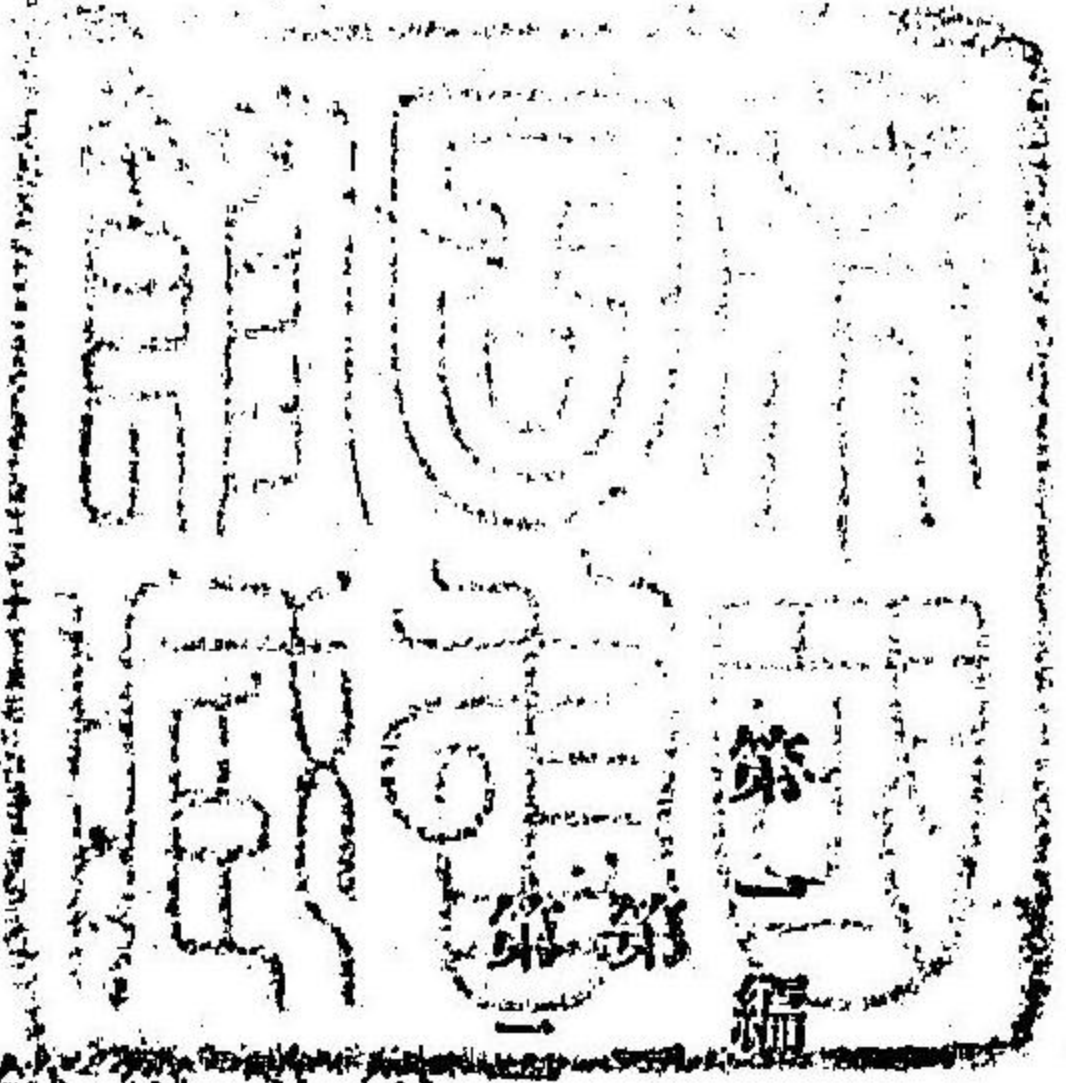
書人
自由
自在

改正刑法

(草案) 全

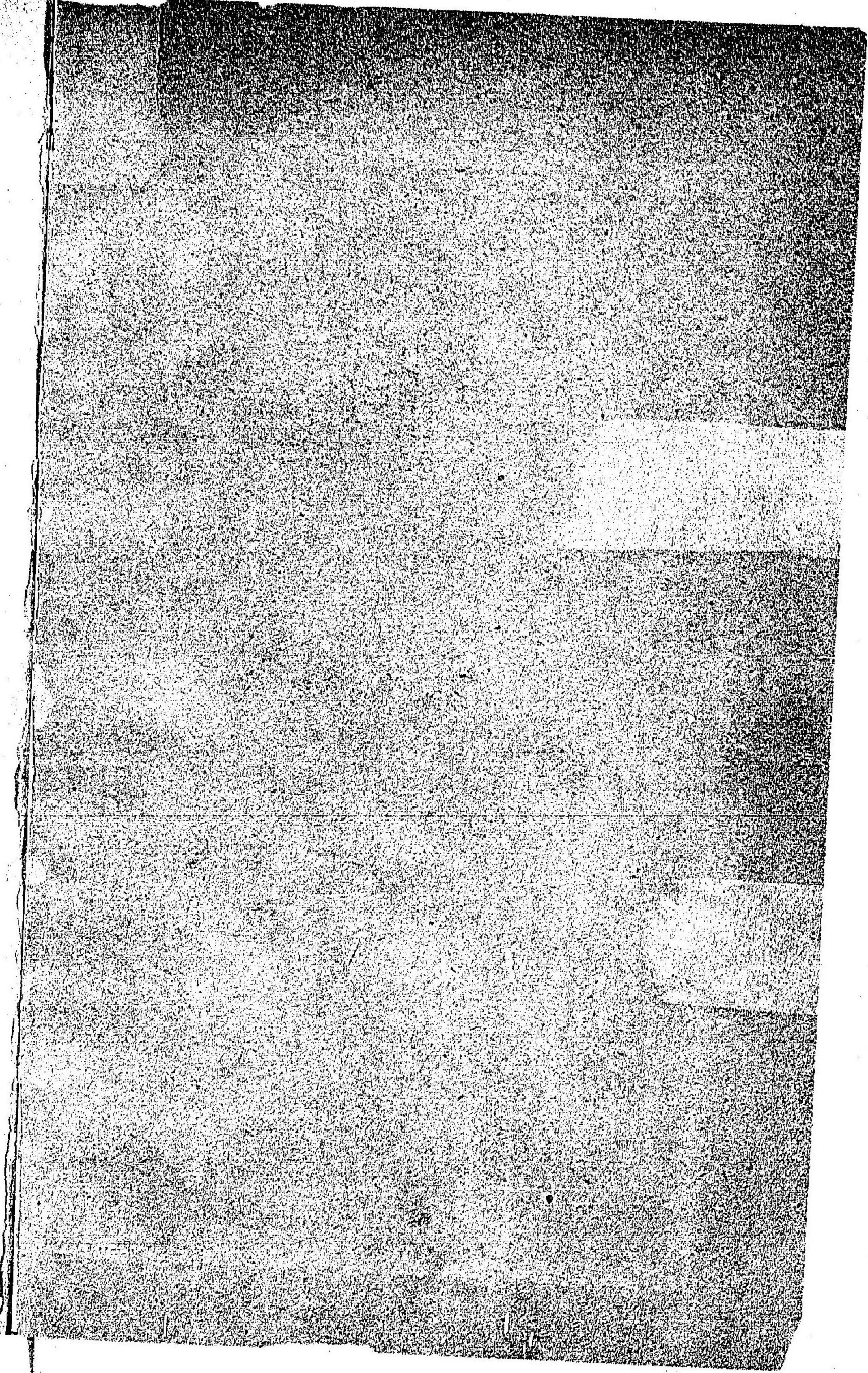
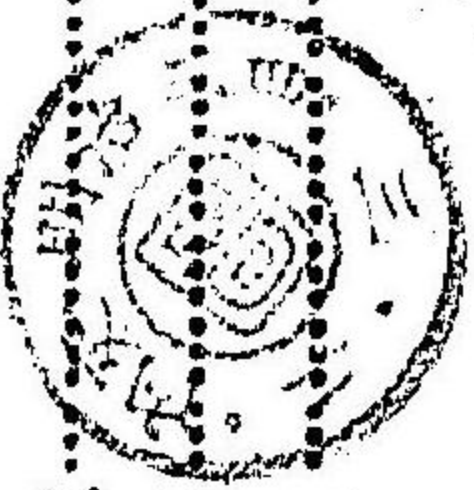
書肆
岡本偉業館發行

特45
381



刑法目錄

第九章	加減例	十五
第八章	酌量減輕	十四
第七章	共犯	十四
第六章	再犯	十三
第五章	併合罪	十一
第四章	未遂罪	十一
第三章	犯罪ノ不成立及ヒ刑ノ減免	九
第五節	大赦、特赦、減刑及ヒ復權	九
第四節	時效	八
第三節	刑ノ執行ノ猶豫及ヒ免除	七
第二節	期間計算	六
第一節	刑	二
第一章	刑法例	二
總則		一



第二編 罪.....十六

第一章 皇室ニ對スル罪.....十六

第二章 内亂ニ關スル罪.....十六

第三章 外患ニ關スル罪.....十七

第四章 國交ニ關スル罪.....十九

第五章 公權ニ對スル罪.....二十

第一節 公務ノ執行ヲ妨害スル罪.....二十

第二節 囚人逃走ノ罪.....二十

第三節 罪人藏匿及ヒ證憑湮滅ノ罪.....二十一

第六章 靜謐ヲ害スル罪.....二十一

第一節 多衆聚合ノ罪.....二十一

第二節 放火及ヒ失火ノ罪.....二十二

第三節 溢水及ヒ水利ニ關スル罪.....二十四

第四節 往來通信ヲ妨害スル罪.....二十五

第五節 住居ヲ侵スル罪.....二十六

第六節 祕密ヲ侵スル罪.....二十七

第七章 衛生ニ關スル罪.....二十七

第一節 阿片煙ニ關スル罪.....二十八

第二節 飲料水ニ關スル罪.....二十八

第八章 信用ヲ害スル罪.....二十九

第一節 通貨偽造ノ罪.....二十九

第二節 文書偽造ノ罪.....三十

第三節 有價證券偽造ノ罪.....三十二

第四節 印章偽造ノ罪.....三十二

第五節 偽證ノ罪.....三十三

第六節 誣告ノ罪.....三十四

第九章 風俗ヲ害スル罪.....三十四

第一節 猥褻及ヒ重婚ノ罪.....三十四

第二節 賭博及ヒ官籤ニ關スル罪.....三十六

第三節 禮拜所及ヒ墳墓ニ關スル罪.....三十六

第十章 瀆職ノ罪.....三十七

第十一章 生命及ヒ身體ニ對スル罪.....三十九

第一節 殺人ノ罪.....三十九

第二節 傷害ノ罪.....四十

第三節	過失傷害ノ罪	四十一
第四節	墮胎ノ罪	四十一
第五節	老幼及ヒ疾病ノ保護ヲ缺ク罪	四十二
第十二章	自由ニ對スル罪	四十二
第一節	逮捕及ヒ監禁ノ罪	四十二
第二節	脅迫ノ罪	四十三
第三節	人ヲ拐取スル罪	四十三
第十三章	名譽ニ對スル罪	四十五
第十四章	財産ニ對スル罪	四十五
第一節	賊盜ノ罪	四十五
第二節	占有物横領ノ罪	四十七
第三節	贖物ニ關スル罪	四十八
第四節	財物毀棄ノ罪	四十八

刑法目錄終

刑法

第一編 總則

第一章 法例

- 第一條 法律ニ於テ罰ス可キ行爲ヲ重罪及ヒ輕罪トス
- 第二條 犯罪後ノ法律ニ因リ刑ノ變更アリタルトキハ其輕キモノヲ適用ス
- 第三條 法律ハ何人ヲ問ハス帝國内ニ於テ犯シタル罪ニ之ヲ適用ス
帝國外ニ在ル帝國艦船内ノ犯罪ニ付キ亦同シ
- 第四條 法律ハ何人ヲ問ハス帝國外ニ於テ皇室又ハ帝國ニ對シテ犯シタル重罪ニ之ヲ適用ス
- 第五條 法律ハ帝國臣民帝國外ニ於テ生命、身體、自由、財産及ヒ信用ニ關シテ犯シタル重罪ニ之ヲ適用ス
- 第六條 外國人帝國外ニ於テ帝國臣民ニ對シテ犯シタル前項ノ罪ニ付キ亦同シ
- 第七條 法律ハ帝國ノ公務員帝國外ニ於テ犯シタル職務ニ關スル罪ニ之ヲ適用ス
- 第七條 外國ニ於テ確定裁判ヲ經タル事件ト雖モ更ニ處罰スルコトヲ妨ケス但犯人既ニ外國ニ於テ言渡サレタル刑ノ全部又ハ一部ノ執行ヲ受ケタルトキハ刑ノ執行ヲ減免スルコト

○刑 法

トヲ得

第八條 本法ニ於テ公務員ト稱スルハ官吏、公吏、法令ニ依リ公務ニ従事スル議員、委員
其他ノ職員ヲ謂フ

公務所ト稱スルハ公務員ノ職務ヲ行フ所ヲ謂フ

第九條 本法ノ總則ハ他ノ法律ニ於テ刑ヲ定メタルモノニ亦之ヲ適用ス但其法律ニ特別ノ
規定アルトキハ此限ニ在ラス

第二章 刑 例

第一節 刑

第十條 死刑、懲役、禁錮及ヒ罰金ヲ重罪ノ主刑トス

拘留及ヒ科料ヲ輕罪ノ主刑トス

公權剝奪、監視及ヒ沒收ヲ附加刑トス

第十一條 主刑ノ輕重ハ前條記載ノ順序ニ依ル但有期禁錮ノ長期有期懲役ノ長期ノ二倍ヲ
超ユルトキハ禁錮ヲ以テ重シトス

同種ノ刑ハ長期ノ長キモノ又ハ多額ノ多キモノヲ以テ重シトス

二個以上ノ死刑又ハ長期若クハ多額ノ同シキ同種ノ刑ハ犯情ニ依リ其輕重ヲ定ム

第十二條 死刑ハ監獄内ニ於テ絞首シテ之ヲ執行ス

死刑ノ言渡ヲ受ケタル者ハ其執行ニ至ルマテ之ヲ監獄ニ拘留ス

第十三條 懲役ハ無期及ヒ有期トシ有期懲役ハ一年以上十五年以下トス

懲役ハ懲役場ニ拘留シ定役ニ服ス

第十四條 禁錮ハ無期及ヒ有期トシ有期禁錮ハ一年以上十五年以下トス

禁錮ハ禁錮場ニ拘留ス

第十五條 罰金ハ一圓以上トス

第十六條 罰金ヲ完納スルコト能ハサル者ハ一日以上一年以下ノ期間之ヲ勞役場ニ留置ス

罰金ノ言渡ヲ爲ストキハ其言渡ト共ニ罰金不完納ノ場合ニ於ケル留置ノ期間ヲ定メ之ヲ
言渡ス可シ

裁判確定後一月内ハ本人ノ承諾アルコト非サレハ留置ノ執行ヲ爲スコトヲ得ス

罰金ノ言渡ヲ受ケタル者其幾分ヲ納メタルトキハ罰金ノ全額ト留置日數トノ割合ニ從ヒ
其金額ニ相當スル日數ヲ控除シテ之ヲ留置ス

留置期間内罰金ヲ納ムルトキハ前項ノ割合ヲ以テ殘日數ニ充ツ

第十七條 拘留ハ一日以上一月以下トシ拘留場ニ拘留ス

第十八條 科料ハ十錢以上三十圓以下トス

第十九條 科料ヲ完納スルコト能ハサル者ハ一日以上一月以下ノ期間之ヲ勞役場ニ留置ス

科料ヲ併科シタル場合ト雖モ留置ノ期間ハ二月ヲ超ユルコトヲ得ス

一圓以上ノ科料ニ處セラレタル者ニ對シテハ裁判確定後一月内ハ本人ノ承諾アルコト非サ

レハ留置ノ執行ヲ爲スコトヲ得ス

第十六條第二項、第四項及ヒ第五項ノ規定ハ科料ニ之ヲ準用ス

第二十條 公權剝奪ハ左ノ效果ヲ生ス

- 一 法律ニ定メタル選舉ニ付キ選舉權及ヒ被選舉權ノ喪失
- 二 公務員タル資格ノ喪失
- 三 位記、勳章、年金及ヒ恩給ヲ有スル資格ノ喪失
- 四 外國ノ勳章ヲ佩用スルコトノ禁止
- 五 兵籍ニ入ル資格ノ喪失

第二十一條 公權剝奪ハ無期又ハ有期トシ有期公權剝奪ハ一年以上十五年以下トス

死刑又ハ無期ノ懲役若クハ禁錮ニ附加ス可キ公權剝奪ハ當然無期トス

十年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ附加ス可キ公權剝奪ハ無期又ハ有期トシ十年未滿ノ懲

役又ハ禁錮ニ附加ス可キ公權剝奪ハ十年以下トス

有期ノ懲役又ハ禁錮ニ有期公權剝奪ヲ附加セラレタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ其懲役又ハ

禁錮ノ滿限若クハ其執行ノ免除ニ至ルマテ當然公權ヲ剝奪セラレタルモノトス

第二十二條 監視ハ左ノ效果ヲ生ス

- 一 犯罪ノ地及ヒ被害者所在地ノ警察官廳ハ被監視人ニ對シ其管轄地ノ全部又ハ一部ニ住居シ又ハ立入ルヲ禁スルコトヲ得

二 必要ナル場合ニ於テハ警察官ハ何時コトモ被監視人ノ住居ニ就キ搜索及ヒ物件差

押ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 監視ノ期間ハ六月以上二年以下トス

第二十四條 有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處スル場合ニ於テ監視ヲ附加スルコトヲ得ヘキ罪ト同

質ノ罪ニ因リ死刑又ハ無期ノ懲役若クハ禁錮ニ處セラレタル者特赦又ハ時効ニ因リ其執

行ノ免除ヲ得又ハ減刑ニ因リ有期ノ懲役若クハ禁錮ニ減輕セラレタルトキハ當然二年間

監視ニ付セラレタルモノトス

併合罪ニ付キ死刑又ハ無期ノ懲役若クハ禁錮ニ處セラレタル者特赦又ハ時効ニ因リ其執

行ノ免除ヲ得又ハ減刑ニ因リ有期ノ懲役若クハ禁錮ニ減輕セラレタル場合ニ於テ其併合

罪中監視ヲ附加スルコトヲ得ヘキ罪アルトキ亦同シ

第二十五條 法律ニ於テ所有ヲ禁シタル物件ハ之ヲ沒收ス

左ニ記載シタル物件ハ之ヲ沒收スルコトヲ得

- 一 犯罪行為ニ供シ又ハ供セントシタル物件
- 二 犯罪行為ヨリ生シ又ハ之ニ因リ得タル物件

物件ノ沒收ハ其物件犯人以外ノ者ニ屬セザルトキニ限ル

第二十六條 輕罪ノ刑ニ付テハ別段ノ規定アルニ非サレハ沒收ヲ附加スルコトヲ得ス但前

條第一項ニ記載シタル物件ハ此限ニ在ラス

第二節 期間計算

第二十七條 期間ヲ計算スルニ一日ト稱スルハ二十四時ヲ以テシ一月ト稱スルハ三十日ヲ以テシ一年ト稱スルハ曆ニ從フ

第二十八條 刑期ハ裁判確定ノ日ヨリ起算ス

拘禁セラレサル日數ハ裁判確定後ト雖モ懲役禁錮又ハ拘留ノ刑期ニ算入セス

有期ノ懲役又ハ禁錮ニ附加セラレタル有期公權剝奪及ヒ監視ノ期間ハ其懲役又ハ禁錮ノ滿限若クハ其執行免除ノ翌日ヨリ起算ス

死刑又ハ無期ノ懲役若クハ禁錮ノ執行免除ヲ得タル者ノ監視ノ其期間ハ免除ノ翌日ヨリ起算シ減刑ニ因リ死刑又ハ無期ノ懲役若クハ禁錮ヲ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ減輕セラレタル者ノ監視ノ期間ニ付テハ前項ノ例ニ依ル

第二十九條 受刑ノ初日ハ時間ヲ論セス全一日トシテ之ヲ計算ス時効期間ノ初日亦同シ

放免ハ刑期終了ノ翌日ニ於テ之ヲ行フ

第三十條 未決勾留ノ日數ハ左ノ區別ニ從ヒ本刑ニ算入ス但本刑ノ一日又ハ一圓ニ當ラサル勾留日數ハ之ヲ除去ス

一 懲役一日ハ付キ勾留六日

二 禁錮拘留一日ニ付キ勾留三日

三 罰金科料一圓ニ付キ勾留二日但一圓以下ト雖モ亦同シ

第三節 刑ノ執行ノ猶豫及ヒ免除

第三十一條 左ニ記載シタル者一年以下ノ禁錮又ハ六月以下ノ懲役ノ言渡ヲ受ケタルトキハ情狀ニ因リ裁判確定ノ日ヨリ二年以上五年以下ノ期間内其執行ヲ猶豫スルコトヲ得

一 前ニ罰金以外ノ重罪ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者

二 前ニ罰金以外ノ重罪ノ刑ニ處セラレタルコトアルモ其執行ヲ終リ又ハ其執行ノ免除ヲ得タル日ヨリ十年以上罰金以外ノ重罪ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者

第三十二條 公權剝奪又ハ監視ヲ附加セラレタル者ニハ前條ノ規定ヲ適用セス

第三十三條 左ニ記載シタル場合ニ於テハ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消ス可シ但第三十一條第二號ニ記載シタル者ニ付テハ此限ニ在ラス

一 猶豫ノ期間内更ニ罪ヲ犯シ罰金以外ノ重罪ノ刑ニ處セラレタルトキ

二 猶豫ノ言渡前ニ犯シタル他ノ罪ニ付キ罰金以外ノ重罪ノ刑ニ處セラレタルトキ

三 猶豫ノ言渡前他ノ罪ニ付キ罰金以外ノ重罪ノ刑ニ處セラレタルコト發覺シタルトキ

第三十四條 刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消サルルコト無クシテ猶豫ノ期間ヲ經過シタルトキハ刑ノ言渡ハ當然其效力ヲ失フ

第三十五條 禁錮又ハ懲役ニ處セラレタル者更ニ重罪ヲ犯ス虞ナキトキハ有期刑ニ付テハ其刑期三分ノ一無期刑ニ付テハ十年ヲ經過シタル後行政處分ヲ以テ假ニ出獄ヲ許スコト

ヲ得

第三十六條 左ニ記載シタル場合ニ於テハ假出獄ノ處分ヲ取消ス可トヲ得

- 一 假出獄中更ニ罪ヲ犯シ重罪ノ刑ニ處ヒラレタルトキ
- 二 假出獄前ニ犯シタル他ノ罪ニ付キ重罪ノ刑ニ處セラレタルトキ
- 三 假出獄前他ノ罪ニ付キ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ其刑ノ執行ヲ爲ス可キトキ

四 假出獄取締規則ニ違背シタルトキ

假出獄ノ處分ヲ取消シタルトキハ出獄中ノ日數ハ刑期ニ算入セス

第三十七條 拘留ニ處セラレタル者ハ情狀ニ因リ何時ニテモ行政處分ヲ以テ其執行ヲ免除スルコトヲ得

罰金又ハ科料ヲ完納スルコト能ハサルニ因リ留置セラレタル者亦同シ

第四節 時 效

第三十八條 死刑、懲役、禁錮、罰金、拘留、科料及ヒ沒收ノ言渡ヲ受ケタル者ハ時效ニ因リ執行ノ免除ヲ得

第三十九條 時效ハ刑ノ言渡確定シタル後左ノ期間内其執行ヲ受ケサルニ因リ完成ス

- 一 死刑ハ三十年
- 二 無期ノ懲役又ハ禁錮ハ二十年

三 有期ノ懲役又ハ禁錮ハ十年以上十五年、三年以上十年、三年未満ハ五年

四 罰金ハ三年

五 拘留科料及ヒ沒收ハ一年

第四十條 時效ノ期間ハ法律ニ依リ刑ノ執行ヲ猶豫シ又ハ之ヲ停止シタル期間内ハ經過スルコトナシ

第四十一條 時效ハ刑ノ執行ニ付キ犯人ヲ逮捕シタルニ因リ之ヲ中斷ス
罰金、科料及ヒ沒收ノ時效ハ執行行為ヲ爲シタルニ因リ之ヲ中斷ス

第五節 大赦、特赦、減刑及ヒ復權

第四十二條 大赦ハ裁判言渡ノ效力ヲ全減ス

第四十三條 特赦ハ刑ノ執行ヲ免除シ減刑ハ刑ノ執行ヲ減輕ス

第四十四條 復權ハ將來ノ公權ヲ復シ當然監視ヲ免除ス

第三章 犯罪ノ不成立及ヒ刑ノ減免

第四十五條 法令又ハ正當ノ業務ニ因リ爲シタル行為ハ之ヲ罰セス

第四十六條 急迫不正ノ侵害ニ對シ自己又ハ他人ノ權利ヲ防衛スル爲メ已ムコトヲ得サルニ出テタル行為ハ之ヲ罰セス

若シ必要ノ程度ヲ超エタルトキハ情狀ニ因リ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第四十七條 自己又ハ他人ノ生命、身體、自由若クハ財産ニ對スル現在ノ危難ヲ避クル爲

メ已ムコトヲ得サルニ出テタル行為ハ其行為ヨリ生シタル害其避ケントシタル害ノ程度ヲ超エサル場合ニ限り之ヲ罰セス但其程度ヲ超エタルトキト雖モ情狀ニ因リ其刑ヲ減輕スルコトヲ得

前項ノ規定ハ業務上特別ノ義務アル者ニハ之ヲ適用セス

第四十八條 罪ヲ犯ス意ナキ行為ハ之ヲ罰セス但法律ニ特別ノ規定アル場合ハ此限ニ在ラズ

法律ヲ知ラサルヲ以テ罪ヲ犯ス意ナシト爲スコトヲ得ス但情狀ニ因リ其刑ヲ減輕スルコトヲ得

第四十九條 精神障礙ニ因ル行為ハ之ヲ罰セス但情狀ニ因リ監置ノ處分ヲ命スルコトヲ得精神耗弱者ノ行為ハ其刑ヲ減輕ス

第五十條 癡啞者ノ行為ハ之ヲ罰セス又ハ其刑ヲ減輕ス但之ヲ罰セサル場合ニ於テハ情狀ニ因リ十年以下ノ期間懲治ノ處分ヲ命スルコトヲ得

第五十一條 十四歳ニ滿タサル者ノ行為ハ之ヲ罰セス但滿八歳以上ノ者ノ行為ニシテ重罪ニ該ルトキハ情狀ニ因リ十年以下ノ期間懲治ノ處分ヲ命スルコトヲ得

第五十二條 十四歳以上二十歳ニ滿タサル者ノ行為ハ其刑ヲ減輕スルコトヲ得

第五十三條 監置又ハ懲治ノ處分ヲ受ケタル者ハ情狀ニ因リ何時ニテモ行政處分ヲ以テ其執行ヲ免除スルコトヲ得

第五十四條 罪ヲ犯シ未ダ官ニ發覺セサル前自首シタル者ハ其刑ヲ減輕スルコトヲ得告訴ヲ待テ論ス可キ罪ニ付キ告訴權ヲ有スル者ニ首服シタル者亦同シ

第四章 未遂罪

第五十五條 犯罪ノ實行ニ着手シ之ヲ遂ケサル者ハ其刑ヲ減輕スルコトヲ得但自己ノ意思ニ因リ之ヲ止メタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第五十六條 未遂罪ヲ罰スル場合ハ各本條ニ於テ之ヲ定ム

第五章 併合罪

第五十七條 確定裁判ヲ經サル數罪ヲ併合罪トス若シ或罪ニ付キ確定裁判アリタルトキハ止テ其罪ト其裁判確定前ニ犯シタル罪トヲ併合罪トス

第五十八條 併合罪中其一罪ニ付キ死刑ニ處ス可キトキハ他ノ刑ヲ科セス但公權剝奪及ヒ沒收ハ此限ニ在ラス

其一罪ニ付キ無期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス可キトキ亦他ノ刑ヲ科セス但罰金、科料、公權剝奪及ヒ沒收ハ此限ニ在ラス

第五十九條 併合罪中二個以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮アルトキハ其最モ重キ罪ニ付キ定メタル刑ノ長期ニ其半數ヲ加ヘタルモノヲ以テ長期トス但各罪ニ付キ定メタル刑ノ長期ヲ合算シタルモノニ超ユルコトヲ得ス

第六十條 罰金ト他ノ刑トハ之ヲ併科ス但第五十八條第一項ノ場合ハ此限ニ在ラス

二個以上ノ罰金ハ各罪ニ付キ定メタル罰金ノ合算額以下ニ於テ處斷ス

第六十一條 併合罪中重キ罪ニ附加刑ナント雖モ他ノ罪ニ附加刑アルトキハ之ヲ附加ス但

第五十八條ノ適用ヲ妨ケス

二個以上ノ公權剝奪アルトキハ其期限ノ最モ長キモノヲ附加シ二個以上ノ監視アルトキ

ハ單ニ其一個ヲ附加ス

二個以上ノ沒收ハ之ヲ併科ス

第六十二條 併合罪中既ニ裁判ヲ經タル罪ト未タ裁判ヲ經サル罪トアルトキハ更ニ裁判ヲ

經サル罪ニ付キ處斷ス

第六十三條 併合罪ニ付キ二個以上ノ裁判アリタルトキハ其刑ヲ併セテ之ヲ執行ス但死刑

ヲ執行ス但死刑ヲ執行ス可キトキハ公權剝奪及ヒ沒收ヲ除ク外他ノ刑ヲ執行セス無期ノ

懲役又ハ禁錮ヲ執行ス可キトキハ罰金、科料、公權剝奪及ヒ沒收ヲ除ク外他ノ刑ヲ執行

セス有期ノ懲役又ハ禁錮ノ執行ハ其最モ重キ罪ニ付キ定メタル刑ノ長期ニ其半數ヲ加ヘ

タルモノニ超ユルコトヲ得ス

公權剝奪及ヒ監視ハ其期限ノ最モ長キモノヲ執行ス

第六十四條 併合罪ニ付キ處斷セラレタル者或罪ニ付キ大赦ヲ受ケタル場合ニ於テハ特ニ

大赦ヲ受ケサル罪ニ付キ刑ヲ定ム

第六十五條 輕罪ノ刑ト他ノ刑トハ之ヲ併科ス但第五十八條ノ場合ハ此限ニ在ラス

二個以上ノ輕罪ノ刑ハ之ヲ併科ス

第六十六條 一個ノ行爲ニシテ數個ノ罪名ニ觸レ又ハ犯罪ノ手段若クハ結果タル行爲ニシ

テ他ノ罪名ニ觸レルトキハ其最モ重キ刑ヲ以テ處斷ス

第六十一條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用ス

第六十七條 連續シタル數個ノ行爲ニシテ同一ノ罪名ニ觸レルトキハ一罪トシテ之ヲ處斷

ス

第六章 再 犯

第六十八條 懲役ニ處セラレタル者其執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル日ヨリ十年内ニ

更ニ有期懲役ニ該ル罪ヲ犯シタルトキハ之ヲ再犯トス

懲役ニ該ルト同質ノ罪ニ因リ死刑ニ處セラレタル者其執行ノ免除アリタル日ヨリ又ハ減

刑ニ因リ懲役ニ減輕セラレ其執行ヲ終リ若クハ執行ノ免除アリタル日ヨリ前項ノ期間内

ニ更ニ有期懲役ニ該ル罪ヲ犯シタルトキ亦同シ

併合罪ニ付キ處斷セラレタル者其併合罪中懲役ニ該ル罪アリタルトキハ其罪最重ノモノ

ニ非スト雖モ再犯例ノ適用ニ付テハ懲役ニ處セラレタルモノト看做ス

第六十九條 再犯ノ刑ハ其罪ニ付キ法律ニ定メタル懲役ノ長期ノ二倍トス

第七十條 裁判確定後再犯者タルコトヲ發見シタルトキハ前條ノ規定ニ從ヒ加重ス可キ刑

ヲ定ム

懲役ノ執行ヲ終リ又ハ其執行ノ免除アリタル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セス
第七十一條 三犯以上ノ者ト雖モ仍ホ再犯ノ例ニ同シ

第七章 共 犯

第七十二條 二人以上共同シテ犯罪ヲ實行シタル者ハ皆正犯トス

第七十三條 人ヲ教唆シテ犯罪ヲ實行セシメタル者ハ正犯ニ準ス

教唆者ヲ教唆シタル者亦同シ

第七十四條 正犯ヲ幫助シタル者ハ從犯トス

第七十五條 從犯ノ刑ハ正犯ノ刑ニ照シテ減輕ス

第七十六條 輕罪ノ教唆者及ヒ從犯ハ別段ノ規定アルニ非サレハ之ヲ罰セス

第七十七條 犯人ノ身分ニ因リ構成ス可キ罪ヲ共ニ犯シタルトキハ其身分ナキ者ト雖モ仍

ホ共犯トス

身分ニ因リ特ニ刑ノ輕重アルトキハ其身分ナキ者ニハ通常ノ刑ヲ科ス

第八章 酌量減輕

第七十八條 犯罪ノ情狀憫諒ス可キモノハ酌量シテ其刑ヲ減輕スルコトヲ得

第七十九條 法律ニ於テ刑ヲ加重シ又ハ減輕ス可キモノト雖モ仍ホ酌量減輕ヲ爲スコトヲ

得

第九章 加 減 例

第八十條 法律上刑ヲ減輕ス可キ一個又ハ數個ノ原由アルトキハ左ノ例ニ從テ之ヲ減輕ス

一 死刑ヲ減輕ス可キトキハ無期又ハ五年以上ノ懲役若クハ禁錮ニ處ス

二 無期ノ懲役又ハ禁錮ヲ減輕ス可キトキハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 有期ノ懲役又ハ禁錮若クハ拘留ヲ減輕ス可キトキハ其長期ノ三分ノ二以下ニ處

ス但各本條ニ於テ特ニ短期ヲ定メタル場合ニ於テハ其三分ノ二ヲ減シタルモノヲ

以テ短期トス

四 罰金、科料ヲ減輕ス可キトキハ其多額ノ三分ノ二以下ニ處ス

第八十一條 法律上刑ヲ減輕ス可キ場合ニ於テ各本條ニ二個以上ノ刑名アルトキハ先ツ適

用ス可キ刑ヲ定メ其刑ヲ減輕ス

第八十二條 酌量減輕ヲ爲ス可キトキハ左ノ例ニ依ル

一 死刑ヲ減輕ス可キトキハ無期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 無期ノ懲役又ハ禁錮ヲ減輕ス可キトキハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 有期ノ懲役又ハ禁錮ニ短期アルモノヲ減輕ス可キトキハ其短期以下ニ處ス

第八十三條 附加刑ハ加重減輕セス

第八十四條 同時ニ刑ヲ加重減輕ス可キトキハ左ノ順序ニ依ル

一 再犯加重

二 法律上ノ減輕

- 三 併合罪ノ加重
- 四 酌量減輕

第八十五條 有期ノ懲役又ハ禁錮ハ加重シテ二十五年ヲ超ユルコトヲ得ス

第二編 罪

第一章 皇室ニ對スル罪

第八十六條 天皇、太皇太后、皇太后、皇后、皇太子、皇太孫ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス

第八十七條 天皇、太皇太后、皇太后、皇后、皇太子、皇太孫ニ對シ不敬ノ行爲アル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

皇陵ニ對シ不敬ノ行爲アル者亦同シ

第八十八條 皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處シ危害ヲ加ヘントシタル者ハ無期懲役ニ處ス

第八十九條 皇族ニ對シ不敬ノ行爲アル者ハ四年以下ノ懲役ニ處ス

第九十條 本章ノ罪ヲ犯シタル者ニハ公權剝奪ヲ附加スルコトヲ得

本章ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處ス可キ者ニハ監視ヲ附加スルコトヲ得

第二章 内亂ニ關スル罪

第九十一條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スルコトヲ目的トシテ暴動ヲ爲シタル者ハ内亂ノ罪ト爲シ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ死刑又ハ無期禁錮ニ處ス

二 謀議ニ參與シ又ハ群衆ノ指揮ヲ爲シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ禁錮ニ處シ其他諸般ノ職務ニ從事シタル者ハ十年以下ノ禁錮ニ處ス

三 附加隨行シ其他單ニ暴動ニ干與シタル者ハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス但前項第三號ニ記載シタル者ハ此限ニ在ラス

第九十二條 内亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ禁錮ニ處ス

第九十三條 兵器、金穀ヲ資給シ又ハ其他ノ行爲ヲ以テ前二條ノ罪ヲ幫助シタル者ハ七年以下ノ禁錮ニ處ス

第九十四條 本章ノ罪ヲ犯シタル者ニハ公權剝奪ヲ附加スルコトヲ得

第九十五條 第九十二條又ハ第九十三條ノ罪ヲ犯スト雖モ未タ暴動ニ至ラサル前自首シタル者ハ其刑ヲ免除ス

第三章 外患ニ關スル罪

第九十六條 外國ニ通謀シテ帝國ニ對シ戰端ヲ開カシメ又ハ敵國ニ與シテ帝國ニ抗敵シタル者ハ死刑ニ處ス

第九十七條 要塞、陣營、軍隊、艦船其他軍用ニ供スル場所又ハ建造物ヲ敵國ニ交付シタ

ル者ハ死刑ニ處ス

兵器、彈藥其他軍用ニ供スル物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス
第九十八條 敵國ヲ利スル爲メ要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥、汽車、電車、鐵道、電線
其他軍用ニ供スル場所又ハ物件ヲ毀壞シ若クハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者
ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第九十九條 帝國ノ軍用ニ供セサル兵器、彈藥其他直接ニ戰鬪ノ用ニ供ス可キ物件ヲ敵國
ニ交付シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス
第一百條 敵國ノ爲メニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幫助シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ七
年以上ノ懲役ニ處ス

軍事上ノ機密ヲ敵國ニ漏洩シタル者亦同シ

第一百一條 前數條ニ記載シタル以外ノ方法ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利益ヲ與ヘ又ハ帝國ノ軍
事上ノ利益ヲ害シタル者ハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

第一百二條 第九十六條乃至第一百一條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第一百三條 第九十六條乃至第一百一條ニ記載シタル罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ十年以
下ノ懲役ニ處ス

第一百四條 本章ノ罪ヲ犯シタル者ニハ公權剝奪ヲ附加スルコトヲ得
本章ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處ス可キ者ニハ監視ヲ附加スルコトヲ得

第一百五條 本章ノ規定ハ外國人ニ對シテハ帝國又ハ帝國ノ艦船若クハ占領地ニ在テ犯シタ
ル場合ニ限り之ヲ適用ス

前項ノ規定ハ戰時慣例ニ依リ處分スルコトヲ妨ケス

第一百六條 本章ノ規定ハ戰時同盟國ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第四章 國交ニ關スル罪

第一百七條 帝國ニ滞在スル外國ノ君主又ハ大統領ニ對シ暴行ヲ加ヘタル者ハ十年以下ノ懲
役ニ處ス

帝國ニ滞在スル外國ノ君主又ハ大統領ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス
但外國政府ノ請求ヲ待テ其罪ヲ論ス

第一百八條 帝國ニ派遣セラレタル外國ノ使節ニ對シ暴行ヲ加ヘタル者ハ三年以下ノ懲役ニ
處ス帝國ニ派遣セラレタル外國ノ使節ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス
但被害者ノ請求ヲ待テ其罪ヲ論ス

第一百九條 外國ニ對シ侮辱ヲ加フル目的ヲ以テ其國ノ國旗其他ノ國章ヲ破毀、汚損又ハ除
去シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス但外國政府ノ請求ヲ待テ其罪
ヲ論ス

第一百十條 外國ニ對シ私ニ戰鬪ヲ爲ス目的ヲ以テ其豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ五年以下
ノ禁錮ニ處ス但自首シタル者ハ其刑ヲ免除ス

○刑 法

第百十一條 外國交戦ノ際局外中立ニ關スル命令ニ違背シタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五章 公權ニ對スル罪

第一節 公務ノ執行ヲ妨害スル罪

第百十二條

公務員ノ職務ノ執行ヲ妨害スル爲メ又ハ公務員ヲシテ或處分ヲ爲サシムル爲メ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ四年以下ノ懲役ニ處ス

公務員ヲシテ其職ヲ辭セシムル爲メ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者亦同シ

第百十三條

公務員ノ職務ヲ執行スルニ當リ其面前ニ於テ侮辱ヲ爲シ又ハ其面前ニ非スト雖モ其職務ニ對シテ文書、圖畫又ハ偶像ヲ公示シ若クハ公然ノ雜劇、歌曲又ハ演說ヲ以テ侮辱シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

公務所ニ對シテ文書、圖畫又ハ偶像ヲ公示シ若クハ公然ノ雜劇、歌曲又ハ演說ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

第百十四條

官吏、公吏ノ施シタル封印又ハ差押ノ標示ヲ破毀シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ封印又ハ標示ヲ無效トラシメタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二節 囚人逃走ノ罪

第百十五條

既決、未決ノ囚人逃走シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス

第百十六條

囚人獄舎又ハ械具ヲ毀壞シ若クハ暴行、脅迫ヲ爲シ又ハ二人以上通謀シテ逃

走シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第百十七條

囚人ヲ奪取シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第百十八條

囚人ヲ逃走セシムル目的ヲ以テ器具ヲ給與シ其ヲ逃走ヲ容易ナラシム可キ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第百十九條

囚人ヲ看守シ又ハ護送スル者囚人ヲ逃走セシメタルトキハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百二十條 本節ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三節 罪人藏匿及ヒ證憑湮滅ノ罪

第百二十一條

逃走ノ囚人又ハ重罪ノ刑ニ該ル可キ罪ヲ犯シタル者ヲ藏匿シ又ハ隱避セシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十二條

他人ノ刑事被告事件ニ關スル證憑ヲ湮滅シ又ハ偽造、變造シ若クハ偽造、變造ノ證憑ヲ使用シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十三條

本節ノ罪ハ被告人ノ親族ニシテ被告人ノ利益ノ爲メニ犯シタルトキハ之ヲ罰セス

第六章 靜謐ヲ害スル罪

第一節 多衆聚合ノ罪

○刑 法

第二百二十四條 何等ノ目的ヲ問ハス之ヲ達スル爲メ多衆聚合シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 首魁ハ十年以下ノ懲役ニ處ス
- 二 他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス
- 三 附和隨行シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五條 暴行又ハ脅迫ヲ以テ目的ヲ達スル爲メ多衆聚合シ官吏又ハ公吏ノ説諭ヲ受クルト雖モ解散セサルトキハ首魁ハ三年以下ノ懲役ニ處シ其他ノ者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十六條 本節ノ罪ヲ犯シ懲役ニ處ス可キ者ニハ公權剝奪ヲ附加スルコトヲ得

第二節 放火及ヒ失火ノ罪

第二百二十七條 火ヲ放テ現ニ人ノ住居ニ使用シ又ハ人ノ現在スル建造物、瀛車、電車、船、船又ハ鑛坑ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第二百二十八條 火ヲ放テ現ニ人ノ住居ニ使用セス又ハ人ノ現在セサル建造物、船舶又ハ鑛坑ヲ燒燬シタル者ハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ物自己ノ所有ニ係ルトキハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第二百二十九條 火ヲ放テ前二條ニ記載シタル以外ノ物ヲ燒燬シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ物自己ノ所有ニ係ルトキハ放火ノ爲メ公共ノ危險ヲ生シタルトキニ限リ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十條 第二百二十八條第二項又ハ前條第二項ノ罪ヲ犯シ因テ第二百二十七條及ヒ第二百二十八條第一項ニ記載シタル物ニ延燒シタルトキハ七年以上ノ懲役ニ處ス若シ前條第一項ニ記載シタル物ニ延燒シタルトキハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第二百三十一條 第二百二十七條第二百二十八條及ヒ第二百二十九條第一項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百三十二條 第二百二十七條及ヒ第二百二十八條第一項ノ罪ヲ犯ス目的ヲ以テ其準備ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス但情狀ニ因リ本刑ヲ免除シテ監視ニ付スルコトヲ得

第二百三十三條 第二百二十八條及ヒ第二百二十九條ニ記載シタル物自己ノ所有ニ係ルト雖モ差押ヲ受ケ、物權ヲ設定シ又ハ貸貸シ若クハ保險ニ付シタルモノヲ燒燬シタルトキハ他人ノ物ヲ燒燬シタル者ノ例ニ同シ

第二百三十四條 火災ノ際鎮火用ノ物件ヲ隱匿又ハ毀壞シ若クハ其他ノ方法ヲ以テ鎮火ヲ妨害シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三十五條 第二百二十七條乃至第二百三十四條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ公權剝奪ヲ附加スルコトヲ得

第二百二十七條乃至第二百三十四條ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處ス可キ者ニハ監視ヲ附加スルコトヲ得

第三百三十六條 火ヲ失シテ第二百二十七條乃至第二百二十九條及ヒ第三百三十三條ニ記載シタル物ヲ燒燬シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百三十七條 火藥瀛燼其他激發ス可キ物品ヲ破裂セシメテ第二百二十七條乃至第二百二十九條及ヒ第三百三十三條ニ記載シタル物ヲ毀壞シタル者ハ放火、失火ノ例ニ同シ

第三百三十八條 瓦斯、電氣又ハ蒸氣ヲ漏出セシメ人ノ生命、身體又ハ財産ニ危險ヲ生セシメタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シ因テ人ニ死傷ニ致シタルトキハ傷害罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第三百三十九條 第三節 溢水及ヒ水利ニ關スル罪

又ハ鑛坑ヲ浸害シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタルトキハ死刑ニ處スルコトヲ得

第三百四十條 溢水セシメテ前條ニ記載シタル以外ノ物ヲ浸害シタル者ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

浸害シタル物自己ノ所有ニ係ルトキハ差押ヲ受ケ物權ヲ設定シ又ハ賃貸シ若クハ保險ニ付シタル場合ニ限リ前項ノ例ニ依ル

第三百四十一條 水害ノ際防水用ノ物件ヲ隱匿又ハ毀壞シ若クハ其他ノ方法ヲ以テ水防ヲ妨害シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第三百四十二條 第三百三十九條乃至第四百一十一條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ公權剝奪ヲ附加スルコトヲ得

第三百三十九條乃至第四百一十一條ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處ス可キ者ニハ監視ヲ附加スルコトヲ得

第三百四十三條 過失ニ因リ溢水セシメテ第三百三十九條及ヒ第四百十條ニ記載シタル物ヲ浸害シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百四十四條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ破壞シ其他水利ノ妨害トナル可キ行為又ハ溢水セシム可キ行為ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四節 往來通信ヲ妨害スル罪

第三百四十五條 陸路、水路又ハ橋梁ヲ損壞又ハ壅塞シテ往來ノ妨害ヲ生セシメタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百四十六條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第三百四十七條 鐵道又ハ其標識ヲ損壞シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ瀛車又ハ電車ノ往來ノ危險ヲ生セシメタル者ハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

燈臺又ハ浮標ヲ損壞シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ船舶ノ往來ノ危險ヲ生セシメタル者亦同シ

懲役ニ處ス

人ノ現在スル船舶ヲ毀没又ハ破壊シタル者亦同シ

前二項ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第四百九條 第四百七條ノ罪ヲ犯シ因テ漁草又ハ電車ノ顛覆若シハ破壊又ハ船舶ノ毀没若シハ破壊ヲ致シタル者亦前條ノ例ニ同シ

第四百五條 第四百五條、第四百七條及第四十八條第一項、第二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四百一一條 第四百七條及ヒ第四百十八條第一項、第二項ニ掲ケタル行爲過失ニ出タルトキハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

其業務ニ従事スル者前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百二條 郵便、電信又ハ電話ノ用ニ供スル物件ヲ毀損シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ郵便、電信又ハ電話ノ交通ノ妨害ヲ生セシメタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五節 住居ヲ侵ス罪

第四百三條 故ナク人ノ住居又ハ人ノ看守シタル邸宅、建造物若シハ船舶ニ侵入シ又ハ要求ヲ受ケテ其場所ヨリ退去セサル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス若シ左ニ記載シタル情狀アルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス

一 夜間ナルトキ

二 門戸、牆壁其他ノ外圍ヲ踰越、損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キタルトキ

三 兇器ヲ携帯シタルトキ

四 暴行、脅迫ヲ爲シ又ハ偽計ヲ用ヒタルトキ

五 二人以上ナルトキ

第四百四條 故ナク皇居、禁苑、離宮又ハ行在所ニ侵入シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス皇陵ニ處侵入シタル者亦同シ

第四百五條 本節ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四百六條 本節ノ罪ヲ犯シ懲役ニ可キ者ニハ監視ヲ附加スルコトヲ得

第五節 祕密ヲ侵ス罪

第四百七條 故ナク封緘シタル信書ヲ開披、隱匿又ハ毀棄シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百八條 醫師、藥劑師、産婆、辯護士、辯護人、公證人、神職又ハ宗教ノ職ニ在ル者其業務ニ關シ委託ヲ受ケタルコトニ因リ知得タル人ノ祕密ヲ漏告シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス但證人トシテ事實ヲ陳述スル者ハ此限ニ在ラス

第四百九條 本節ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第七章 衛生ニ關スル罪

第一節 阿片煙ニ關スル罪

第百六十條 阿片煙ヲ輸入、製造又ハ販賣スル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第百六十一條 阿片煙ヲ吸食スル器具ヲ輸入、製造又ハ販賣スル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第百六十二條 税關官吏阿片煙又ハ阿片煙吸食ノ器具ノ輸入ヲ許シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第百六十三條 阿片煙ヲ吸食シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第百六十四條 阿片煙又ハ阿片煙吸食ノ器具ヲ所有又ハ所持シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス

第百六十五條 本節ノ罪ヲ犯シタル者ニハ監視ヲ附加スルコトヲ得

第二節 飲料水ニ關スル罪

第百六十六條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十七條 水道ニ由リ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水又ハ其水源ニ毒物其他人ノ健康ヲ害ス可キ物ヲ混入シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第百六十八條 人ノ飲料ニ供スル淨水ニ毒物其他人ノ健康ヲ害ス可キ物ヲ混入シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第百六十九條 水道ニ由リ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水又ハ其水源ニ毒物其他人ノ健康ヲ害ス可キ物ヲ混入シタル者ハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ七年以上ノ懲役ニ處ス

第百七十條 公衆ノ飲料ニ供スル淨水ノ水道ヲ損壞又ハ壅塞シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百七十一條 第百六十六條乃公第百六十八條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第八章 信用ヲ害スル罪

第一節 通貨偽造ノ罪

第百七十二條 行使ノ目的ヲ以テ通用ノ貨幣、紙幣又ハ兌換券ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

内國ニ流通スル外國ノ貨幣、紙幣又ハ兌換券ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

第百七十三條 偽造、變造ノ貨幣、紙幣又ハ兌換券ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ輸入シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第百七十四條 偽造、變造ノ貨幣、紙幣又ハ兌換券ヲ行使スル目的ヲ以テ之ヲ取得シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第一節 阿片煙ニ關スル罪

第六十條 阿片煙ヲ輸入、製造又ハ販賣スル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス
第六十一條 阿片煙ヲ吸食スル器具ヲ輸入、製造又ハ販賣スル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第六十二條 税關官吏阿片煙又ハ阿片煙吸食ノ器具ノ輸入ヲ許シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第六十三條 阿片煙ヲ吸食シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第六十四條 阿片煙又ハ阿片煙吸食ノ器具ヲ所有又ハ所持シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス

第六十五條 本節ノ罪ヲ犯シタル者ニハ監視ヲ附加スルコトヲ得

第二節 飲料水ニ關スル罪

第六十六條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十七條 水道ニ由リ公眾ニ供給スル飲料ノ淨水又ハ其水源ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第六十八條 人ノ飲料ニ供スル淨水ニ毒物其他人ノ健康ヲ害ス可キ物ヲ混入シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第六十九條 水道ニ由リ公眾ニ供給スル飲料ノ淨水又ハ其水源ニ毒物其他人ノ健康ヲ害ス可キ物ヲ混入シタル者ハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ七年以上ノ懲役ニ處ス
第七十條 公眾ノ飲料ニ供スル淨水ノ水道ヲ損壞又ハ壅塞シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第七十一條 第六十六條乃公第六十八條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第八章 信用ヲ害スル罪

第一節 通貨偽造ノ罪

七十二條 行使ノ目的ヲ以テ通用ノ貨幣、紙幣又ハ兌換券ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

内國ニ流通スル外國ノ貨幣、紙幣又ハ兌換券ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

七十三條 偽造、變造ノ貨幣、紙幣又ハ兌換券ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ輸入シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

七十四條 偽造、變造ノ貨幣、紙幣又ハ兌換券ヲ行使スル目的ヲ以テ之ヲ取得シタル者ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第百七十五條 前三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百七十六條 貨幣、紙幣又ハ兌換券ヲ收得シタル後其偽造又ハ變造ナルコトヲ知テ之ヲ行使シタル者ハ其價額三倍以下ノ罰金ニ處ス但一圓以下ニ下スコトヲ得ス

第百七十七條 貨幣、紙幣又ハ兌換券ノ偽造、變造ノ用ニ供スル目的ヲ以テ器械又ハ原料ヲ準備シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第百七十八條 本節ノ罪ヲ犯シ懲役ニ處ス可キ者ニハ公權剝奪ヲ附加スルコトヲ得 本節ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處ス可キ者ニハ監視ヲ附加スルコトヲ得

第二節 文書偽造ノ罪

第百七十九條 行使ノ目的ヲ以テ御璽、國璽若クハ御名ヲ不正ニ使用シテ詔書其他ノ文書ヲ偽造シ又ハ偽造シタル御璽、國璽若クハ御名ヲ使用シテ詔書其他ノ文書ヲ偽造シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

御璽、國璽ヲ押捺シ又ハ御名ヲ署シタル詔書其他ノ文書ヲ變造シタル者亦同シ

第百八十條 行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用シテ公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書ヲ偽造シ又ハ偽造シタル公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書ヲ偽造シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス 前二項ノ外公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書ヲ偽造シ若クハ公務所又ハ公務員ノ作ル可キ

ル文書ヲ變造シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十一條 公務員其職務ニ關シ行使ノ目的ヲ以テ詐僞ノ文書ヲ造リ又ハ不正ニ文書ヲ變造シタル者ハ印章、署名ノ有無ヲ區別シ前二條ノ例ニ依ル

第百八十二條 行使ノ目的ヲ以テ他人ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用シテ權利、義務又ハ事實證明ニ關スル文書ヲ偽造シ又ハ偽造シタル他人ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ權利、義務又ハ事實證明ニ關スル文書ヲ偽造シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

他人ノ印章ヲ押捺シ若クハ他人ノ署名シタル權利、義務又ハ事實證明ニ關スル文書ヲ變造シタル者亦同シ

第百八十三條 公務員ニ對シ詐僞ノ申立ヲ爲シ戸籍簿、登記簿其他權利、義務ニ關スル公正證書ノ原本ニ不實ノ記載ヲ爲シシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

公務員ニ對シ詐僞ノ申立ヲ爲シ免狀又ハ鑑札ニ不實ノ記載ヲ爲シシメタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百八十四條 醫師官署又ハ公署ニ提出ス可キ診斷書若クハ死亡證書ニ詐僞ノ記載ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十五條 第百七十九條乃至第百八十四條ニ記載シタル文書ヲ行使シタル者ハ其文書

ヲ作り又ハ變造シタル者若クハ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ト同一ノ刑ニ處ス
本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百八十六條 本節ノ罪ヲ犯シ懲役ニ處ス可キ者ニハ公權剝奪ヲ附加スルコトヲ得
本節ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處ス可キ者ニハ監視ヲ附加スルコトヲ得

第三節 有價證券偽造ノ罪

第百八十七條 行使ノ目的ヲ以テ公債證書、會社ノ株券其他ノ有價證券又ハ其裏書ヲ偽造
若クハ變造シ又ハ詐偽ノ裏書ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第百八十八條 偽造、變造又ハ詐偽ノ裏書ヲ爲シタル有價證券ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ
以テ之ヲ輸入シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス
本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百八十九條 本節ノ罪ヲ犯シタル者ニハ公權剝奪及ヒ監視ヲ附加スルコトヲ得

第四節 印章偽造ノ罪

第百九十條 行使ノ目的ヲ以テ御璽、國璽又ハ御名ヲ偽造シタル者ハ三年以上ノ有期懲役
ニ處ス

御璽、國璽又ハ御名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル御璽、國璽又ハ御名ヲ使用シタル者
亦同シ

第百九十一條 行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ偽造シタル者ハ五

年以下ノ懲役ニ處ス

公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル公務所又ハ公務員ノ
印章若クハ署名ヲ使用シタル者亦同シ

第百九十二條 行使ノ目的ヲ以テ公務所ノ記號ヲ偽造シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

公務所ノ記號ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル公務所ノ記號ヲ使用シタル者亦同シ

第百九十三條 行使ノ目的ヲ以テ他人ノ印章、署名ヲ偽造シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處
ス

他人ノ印章、署名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル印章、署名ヲ使用シタル者亦同シ

第百九十四條 行使ノ目的ヲ以テ政府ヨリ發行スル印紙、郵便切手、封皮、葉書、帶紙又

ハ郵便聯合條約國政府ノ發行スル郵便切手、封皮、葉書、帶紙ヲ偽造又ハ變造シタル者

ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

偽造、變造ノ印紙、郵便切手、封皮、葉書、帶紙ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ輸

入シタル者亦同シ

第百九十五條 第百九十條第二項、第百九十一條第二項、第百九十二條第二項、第百九十

三條第二項及ヒ前條第二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百九十六條 本節ノ罪ヲ犯シタル者ニハ公權剝奪及ヒ監視ヲ附加スルコトヲ得

第五節 偽證ノ罪

第九十七條 法律ニ依リ宣誓シテ證人トナリタル者虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十八條 前條ノ罪ヲ犯シタル者證言シタル事件ノ裁判確定前又ハ懲戒處分前自白シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第九十九條 法律ニ依リ宣誓シテ鑑定人又ハ通事トナリタル者虚偽ノ鑑定又ハ通譯ヲ爲シタルトキハ前二條ノ例ニ依ル

第二百條 本節ノ罪ヲ犯シタル者ニハ公權剝奪ヲ附加スルコトヲ得

第六節 誣告ノ罪

第二百一條 人ヲシテ刑事又ハ懲戒ノ處分ヲ受ケシムル目的ヲ以テ不實ノ申告ヲ爲シタル者ハ第九十七條及ヒ第二百條ノ例ニ依ル

第二百二條 前條ノ罪ヲ犯シタル者申告シタル事件ノ裁判確定前又ハ懲戒處分前自白シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第九章 風俗ヲ害スル罪

第一節 猥褻及ヒ重婚ノ罪

第二百三條 公然猥褻ノ行爲ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス

第二百四條 猥褻ノ文書、圖畫其他ノ物品ヲ頒布シ又ハ公然陳列若クハ販賣スル者ハ科料ニ處ス

本條ノ罪ニハ沒收例ヲ適用ス

第二百五條 十二歳以上ノ男女ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ以テ猥褻ノ行爲ヲ爲シ又ハ其精神障礙若クハ抗拒不能ニ乘シテ猥褻ノ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

十二歳ニ滿タサル男女ニ對シ猥褻ノ行爲ヲ爲シタル者亦同シ

第二百六條 暴行又ハ脅迫ヲ以テ十二歳以上ノ婦女ヲ姦淫シ又ハ其精神障礙若クハ抗拒不能ニ乘シ姦淫シタル者ハ強姦ノ罪ト爲シ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

十二歳ニ滿タサル幼女ヲ姦淫シタル者亦同シ

第二百七條 第二百五條及ヒ第二百六條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百八條 第二百五條及ヒ第二百六條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第二百九條 第二百五條及ヒ第二百六條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第二百十條 營利ノ目的ヲ以テ淫行ノ常習ナキ婦女ヲ勸誘シテ姦淫セシメタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十一條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス有夫ノ婦ニ姦シタル者亦同シ

第二百十二條 本條ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス但本夫姦通ヲ縱容シタルトキハ告訴ノ效ナシ配偶者アル者重テ婚姻ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ懲役ニ處ス

第二百十三條 第二百五條、第二百六條及第二百九條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ公權剝奪ヲ附加スルコトヲ得

第二百十條ノ罪ヲ犯シ懲役ニ處ス可キ者ニハ公權剝奪及ヒ監視ヲ附加スルコトヲ得

第二節 賭博及ヒ富籤ニ關スル罪

第二百十四條 偶然ノ輸贏ニ關シ財物ヲ以テ博戯又ハ賭事ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス但一時ノ娛樂ニ供スル物品ヲ賭シタル者ハ此限ニ在ラス

第二百十五條 常習トシテ博戯又ハ賭事ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス博戯場ヲ開張シ又ハ博徒ヲ結合シテ利ヲ圖リタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百十六條 允許ヲ得スシテ富籤ヲ發賣シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

富籤發賣ノ取次ヲ爲シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十七條 允許ヲ得スシテ發賣シタル富籤ヲ買取シタル者ハ科料ニ處ス

第二百十八條 本節ノ罪ヲ犯シ懲役ニ處ス可キ者ニハ監視ヲ附加スルコトヲ得

第三節 禮拜所及セ墳墓ニ關スル罪

第二百十九條 神祠、佛堂、墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ行爲アル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

說教、禮拜又ハ葬式ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十條 墳墓ヲ發掘シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十一條 死體、遺骨又ハ棺内ニ藏置シタル物件ヲ毀損、遺棄若クハ領得シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十二條 第二百二十條ノ罪ヲ犯シ因テ死體、遺骨又ハ棺内ニ藏置シタル物件ヲ毀損、遺棄若クハ領得シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十三條 允許ヲ得スシテ收葬ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス

檢視ヲ經スシテ變死ノ屍ヲ葬リタル者亦同シ

第十章 瀆職ノ罪

第二百二十四條 公務員其職權ヲ濫用シ人ヲシテ義務ナキ事ヲ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタル者ハ六月以下ノ禁錮ニ處ス

第二百二十五條 裁判、檢察、警察ノ職務ヲ行ヒ若クハ之ヲ補助スル者其職權ヲ濫用シ人ヲ逮捕又ハ監禁シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二百二十六條 裁判、檢察、警察ノ職務ヲ行ヒ若クハ之ヲ補助スル者又ハ囚人、監置人、留置人、懲治人ノ看守若クハ護送ノ職ニ在ル者刑事被告人、囚人、監置人、留置人又ハ懲治人ニ對シ暴行又ハ陵虐ノ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二百二十七條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第二百二十八條 水火、風震其他非常ノ事變ニ際シ刑事被告人、囚人、監置人、留置人、懲治人ノ看守若クハ護送ノ職ニ在ル者避難ノ爲メ必要ノ處分ヲ爲サス因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ照シテ處斷ス

第二百二十九條 公務員又ハ仲裁人其職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若クハ約束シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス
本條ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其價額ヲ追徵ス

第二百三十條 公務員又ハ仲裁人ニ賄賂ヲ贈與、提供又ハ約束シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ罪ヲ犯シタル者事未タ發覺セサル前自首シタルトキハ其刑ヲ免除ス裁判確定前自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二百三十一條 公務員又ハ仲裁人情ニ徇ヒ又ハ怨ヲ挾サミ其職務ニ關シ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二百三十二條 公務員又ハ仲裁人自己ニ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ利益ヲ得セシムル爲メ其職務ニ關スル祕事ヲ漏泄シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三十三條 第二百二十九條乃至第二百三十二條ノ罪ヲ犯シ懲役ニ處ス可キ者ニハ公

權剝奪ヲ附加スルコトヲ得

第十一章 生命及ヒ身體ニ對スル罪

第一節 殺人ノ罪

第二百三十四條 人ヲ殺シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第二百三十五條 人ヲ殺シタル者左ニ記載シタル情狀アルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

- 一 自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキ
- 二 豫メ謀テ犯シタルトキ
- 三 二人以上ヲ殺シタルトキ
- 四 支解、折割其他慘刻ノ行爲ヲ以テ犯シタルトキ
- 五 重罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ既ニ犯シテ逮捕ヲ免レ若クハ罪跡ヲ湮滅スル爲メ犯シタルトキ

第二百三十六條 前二條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百三十七條 謀殺ノ目的ヲ以テ其準備ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス但情狀ニ因リ本刑ヲ免除シテ監視ニ付スルコトヲ得

第二百三十八條 人ヲ教唆シテ自殺セシメ又ハ被殺者ノ囑託ヲ受ケ若クハ其承諾ヲ得テ之ヲ殺シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二百三十九條 本節ノ罪ヲ犯シタル者ニハ公權剝奪ヲ附加スルコトヲ得

本節ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處ス可キ者ニハ監視ヲ附加スルコトヲ得

第二一節 傷害ノ罪

第二百四十條 人ノ身體ヲ傷害シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮若クハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

婦女ノ頭髮ヲ切斷又ハ毀損シタル者亦同シ

第二百四十一條 身體傷害ニ因リ左ノ結果ヲ生セシメタルトキハ十年以下ノ懲役ニ處ス

一 一目又ハ兩目ノ視能ノ喪失

二 一耳又ハ兩耳ノ聽能ノ喪失

三 語能ノ喪失

四 一肢以上ノ使用ノ不能

五 陰陽ノ不能

六 重大ニシテ不治ナル精神、身體ノ疾病又ハ外觀ノ不具

七 流産

第二百四十二條 身體傷害ニ因リ人ヲ死ニ致シタル者ハ三年以上ノ有期懲役ニ處ス

自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第二百四十三條 前三條ノ犯罪アルニ當リ現場ニ於テ勢ヲ助ケタル者ハ自ラ人ヲ傷害セス

ト雖モ一年以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十四條 二人以上ニテ暴行ヲ加ヘ人ヲ傷害シタル場合ニ於テ其傷害ヲ生セシメタ

ル者又ハ傷害ノ輕重ヲ知ルコト能ハサルトキハ共同者ニ非スト雖モ共犯ノ例ニ依ル

第二百四十五條 暴行ヲ加フト雖モ人ヲ傷害スルニ至ラサル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

本條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第三節 過失傷害ノ罪

第二百四十六條 過失ニ因テ人ヲ傷害シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第二百四十七條 過失ニ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十八條 業務上必要ナル注意ヲ怠リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ三年以下ノ禁錮

又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四節 墮胎ノ罪

第二百四十九條 懷胎ノ婦女藥物ヲ用ヒ又ハ其他ノ方法ヲ以テ墮胎シタル者ハ一年以下ノ

懲役ニ處ス

第二百五十條 婦女ノ囑託ヲ受ケ又ハ其承諾ヲ得テ墮胎セシメタル者ハ二年以下ノ懲役ニ

處ス因テ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十一條 醫師、産婆又ハ藥劑師婦女ノ囑託ヲ受ケ又ハ其承諾ヲ得テ墮胎セシメタ

ル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十二條 婦女ヲシテ墮胎セシメタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百五十三條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第五節 老幼及ヒ疾病ノ保護ヲ缺ク罪

第二百五十四條 老幼又ハ疾病ノ爲メ扶助ヲ要ス可キ者ヲ遺棄シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十五條 老若、幼者又ハ病者ヲ保護ス可キ責任アル者之ヲ遺棄シ又ハ其生存ニ必要ナル保護ヲ爲ササル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十六條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第二百五十七條 扶助ヲ要ス可キ老若、幼者又ハ病者ヲ現場ニ發見シタル者故ナク之ヲ扶助セス又ハ當該ノ職員ニ申告セサル者ハ科料ニ處ス

第十二章 自由ニ對スル罪

第一節 逮捕及ヒ監禁ノ罪

第二百五十八條 不正ニ人ヲ逮捕又ハ監禁シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十九條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第二節 脅迫ノ罪

第二百六十條 人ノ生命、身體、自由、名譽又ハ財産ニ對シテ害ヲ加ヘント脅迫シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

親族ノ生命、身體、自由、名譽又ハ財産ニ對シテ害ヲ加ヘント脅迫シタル者亦同シ

第二百六十一條 暴行ヲ用ヒ又ハ生命、身體、自由、名譽若クハ財産ニ對シテ害ヲ加ヘント脅迫シ人ヲシテ義務ヲキコトシ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

親族ノ生命、身體、自由、名譽又ハ財産ニ對シテ害ヲ加ヘント脅迫シ人ヲシテ義務ヲキコトシ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタル者亦同シ

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百六十二條 本節ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第三節 人ヲ拐取スル罪

第二百六十三條 父母又ハ其他ノ監督者ノ承諾ヲクシテ未成年者ヲ拐取シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

偽計又ハ威力ヲ用ヒ父母又ハ其他ノ監督者ノ承諾ヲ得テ拐取シタル者亦同シ

前二項ノ行爲營利、猥褻又ハ結婚ノ目的ニ出タルトキハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百六十四條 營利、猥褻又ハ結婚ノ目的ヲ以テ偽計又ハ威力ヲ用ヒ人ヲ拐取シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百六十五條 猥褻又ハ結婚ノ目的ヲ以テ人ヲ拐取シタル罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス但拐取セラレタル者婚姻ヲ爲シタルトキハ婚姻ノ無効又ハ取消ノ裁判確定ノ後ニ非サレハ告訴ノ效ナシ

第二百六十六條 營利又ハ猥褻ノ目的ヲ以テ被拐取者ヲ收受シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

拐取者ヲ幫助スル目的ヲ以テ被拐取者ヲ藏匿シ又ハ隠避セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百六十七條 國外ニ移送スル目的ヲ以テ第二百六十三條第一項、第二項ノ罪ヲ犯シ又ハ偽計若クハ威力ヲ用ヒ人ヲ拐取シタル者ハ三年以上ノ有期徒刑ニ處ス

國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ賣買シ又ハ被拐取者若クハ被賣者ヲ國外ニ移送シタル者亦同シ

第二百六十八條 本節ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百六十九條 本節ノ罪ヲ犯シタル者ニハ公權剝奪ヲ附加スルコトヲ得

第十三章 名譽ニ對スル罪

第二百七十條 惡事醜行アリトシテ公然之ヲ摘示シ人ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハヌ六月以下ノ懲役又ハ禁錮若クハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

死者ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ紐罔ニ出ルニ非サレハ之ヲ罰セス

第十四章 財産ニ對スル罪

第一節 賊盜ノ罪

第二百七十三條 人ノ動産ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪ト爲シ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百七十四條 暴行ヲ用ヒ又ハ現ニ被害者又ハ被害者ニ於テ救護ス可キ者ノ生命、身體自由若クハ財産ニ對シ危害ヲ加ハント脅迫シテ動産ヲ強取シタル者ハ強盜ノ罪ト爲シ三年以上ノ有期徒刑ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ不法ニ財産上ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

第二百七十五條 強盜ノ目的ヲ以テ其準備ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス但情狀ニ因リ本刑ヲ免除シテ監視ニ付スルコトヲ得

第二百七十七條 人ヲ昏醉セシメテ其動産ヲ盜取シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

第二百七十八條 強盜人ヲ傷シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第二百七十九條 強盜婦女ヲ強姦シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死ニ致シタル者ハ前條ノ例ニ依ル

第二百八十條 第二百七十四條ニ記載シタル以外ノ脅迫ヲ用ヒ人ノ動産ヲ奪取シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ不法ニ財産上ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

第二百八十一條 人ヲ欺罔シテ動産ヲ騙取シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ不法ニ財産上ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

第二百八十二條 他人ノ爲メ其事務ヲ處理スル者本人ニ損害ヲ加ヘ又ハ自己若クハ第三者ノ利益ヲ圖ル目的ヲ以テ權限外ノ行爲ヲ爲シ本人ニ財産上ノ損害ヲ加ヘタルトキハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百八十三條 未成年者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神耗弱ニ乘シテ其動産ヲ交付セシメ又ハ不法ニ財産上ノ利益ヲ得若クハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百八十四條 第二百七十三條、第二百七十四條、第二百七十七條及第二百八十條ノ罪ヲ犯ス目的ヲ以テ第二百五十三條及ヒ第二百五十四條ノ罪ヲ犯シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

處ス

第二百八十五條 直系血族及ヒ同居ノ親族ノ間ニ旅テ第二百七十三條及ヒ第二百八十條乃至第二百八十四條ノ罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免除シ其他ノ親族ニ係ルトキハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

其罪ヲ論ス

親族ニ非サル共犯者ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス

第二百八十六條 自己ノ動産ト雖モ質權又ハ留置權ニ因リ他人ノ占有ニ屬シ又ハ官署若クハ公署ノ命ニ因リ他人ノ看守シタルモノナルトキハ他人ノ財物ヲ以テ論ス

第二百八十七條 本節ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス但第二百五十五條ノ罪ハ此限ニ在ラス

第二百八十八條 本節ノ罪ヲ犯シタル者ニハ公權剝奪ヲ附加スルコトヲ得

本節ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處ス可キ者ニハ監視ヲ附加スルコトヲ得

第二百八十九條 他人ノ爲メ占有スル動産又ハ不動産ヲ横領シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス自己ノ動産ト雖モ官署又ハ公署ヨリ保管ヲ命セラレタル場合ニ於テ之ヲ横領シタル者亦同シ

第二百九十條 業務上他人ノ爲メ占有スル動産又ハ不動産ヲ横領シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

○刑 法

四十八

第二百九十一條 遺失物、漂流物其他他人ノ占有ヲ離レタル動産ヲ得テ之ヲ横領シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第二百九十二條 本節ノ罪ニハ第二百八十五條ノ規定ヲ準用ス

第三節 贓物ニ關スル罪

第二百九十三條 贓物ヲ收受シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス
贓物ノ寄藏、故買又ハ牙保ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ懲役及ヒ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百九十四條 前條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ公權剝奪及ヒ監視ヲ附加スルコトヲ得

第二百九十五條 直系血族、同居ノ親族及ヒ此等ノ者ノ配偶者ノ間ニ於テ第二百二十九

三條ノ罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免除ス

第四節 財物毀棄ノ罪

第二百九十六條

公務所ノ用ニ供スル文書ヲ毀棄シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百九十七條 權利、義務ニ關スル人ノ文書ヲ毀棄シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス但告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第二百九十八條 人ノ建造物又ハ船舶ヲ毀壞シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第二百九十九條 前三條ニ記載シタル以外ノ物ヲ毀損又ハ傷害シタル者ハ二年以下ノ懲役

又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス但告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三百條

自己ノ物ト雖モ差押ヲ受ケ又ハ物權ヲ設定シ又ハ賃貸シ若クハ保險ニ付シタルモノヲ毀損又ハ傷害シタルトキハ前三條ノ例ニ依ル

刑 法 終

○刑 法

明治三十四年二月十九日印刷
明治三十四年二月廿四日發行

大阪市東區北久太郎町四丁目百廿八番屋敷

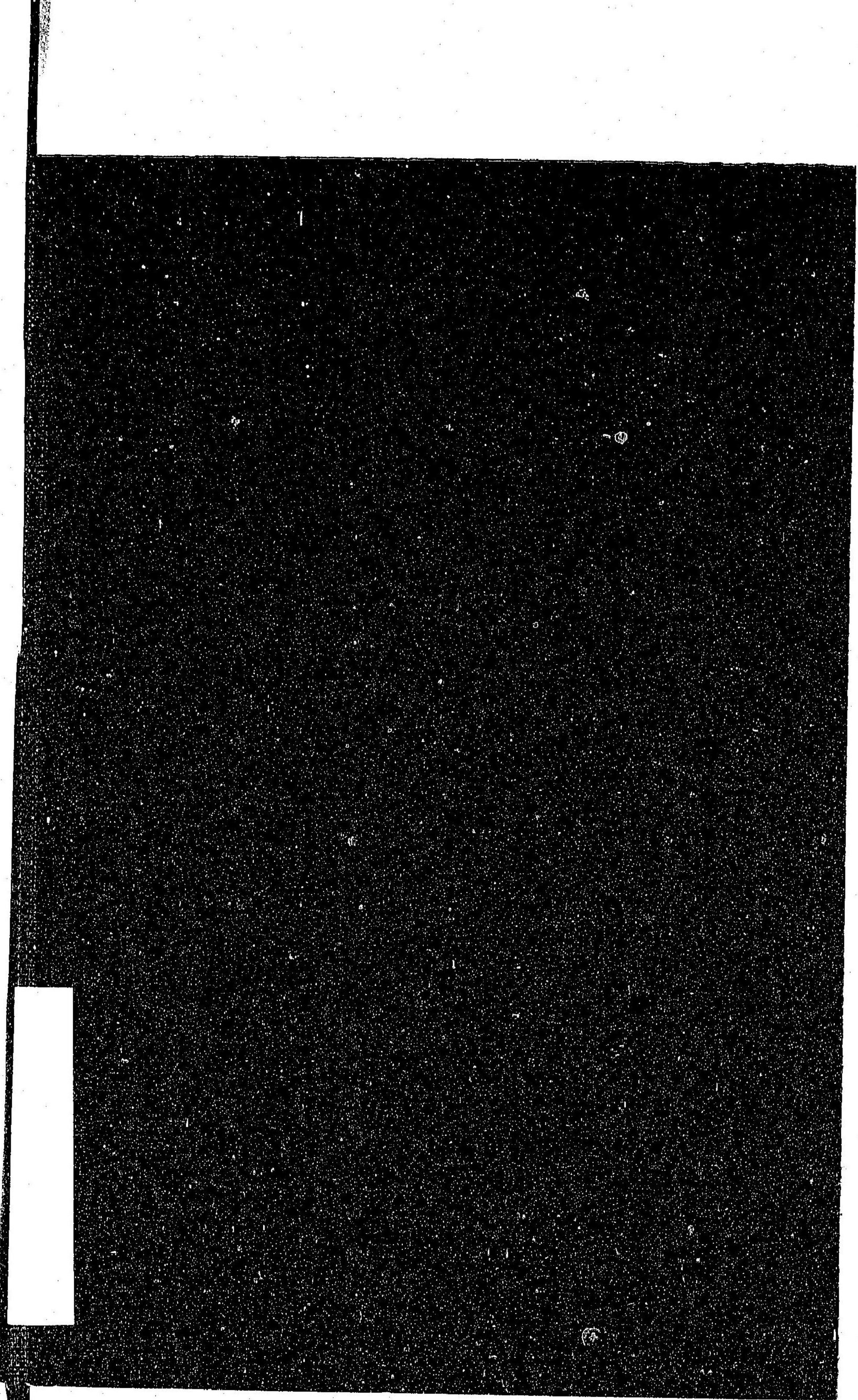
發行者 岡本仙助

大阪市南區西清水町二百二十三番屋敷

印刷者 井下幸三郎

發行所 大阪市東區北久太郎町四丁目 岡本偉業館
賣捌所 大阪市南區心齋橋通二丁目 岡本書店
賣捌所 東京淺草區表神保町 修學堂





特45

381

改正刑法(草案)

国立国会図書館

035519-000-0

特45-381

改正刑法草案

岡本偉業館

M34

BBP-0061

